

市における行財政改革の取組

市はこれまで、平成６年８月に策定した「調布市行財政改革指針」や、平成１３年度から平成２４年度までの４次にわたる「調布市行財政改革アクションプラン」に基づき、最少の経費で最大の効果をあげられるよう、継続的な行財政改革を推進してきました。

また、平成２５年度からは、それまでの行財政改革の取組を発展的に引き継ぎ、基本計画（平成２５年度～３０年度）に一体的に位置付けた「行革プラン２０１３」（平成２５年度～３０年度）をスタートさせました。

平成２６年度には、社会状況等の変化や計画の進捗状況などを踏まえた基本計画の時点修正に合わせて、行革プラン２０１３についても見直しを行い、平成２７年度を初年度とする「行革プラン２０１５」（平成２７年度～３０年度）を策定しました。令和元年度からの後期基本計画には、「行革プラン２０１９」（令和元年度～４年度）を一体的に位置付け、取組を推進しました。現行の基本計画に位置付けた「行革プラン２０２３」（令和５年度～８年度）は、行革プラン２０１９を発展的に継承したものであり、市における行政改革の具体的な取組を示しています。

令和５年度においては、行革プラン２０２３の取組の初年度として、各プランの進捗管理を着実に行いました。本報告書では、令和５年度における取組状況を取りまとめています。

今後も限りある経営資源を効果的・効率的に活用し、最少の経費で最大の効果を目指して、取組を推進していきます。